

平成30年度新規採択(着工)
令和4年度 第1回計画変更
令和6年度 第2回計画変更

水利施設等保全高度化事業
(畑地帯総合整備事業 (畑地帯総合整備型))

計画変更概要書

ぐん ほうだい ち く
軍豊第2 地区

北海道十勝総合振興局東部耕地出張所

事業種	変更内容			変更の理由						
	地域	主要工事	事業費							
農業用排水				変更なし						
農業用道路	○	○	○	1号農道取り止めによる事業量、事業費の減						
区画整理	○	○	○	受益者の申し出並びに現地調査結果による事業量・事業費の減 ・営農計画の変更による取り止めによる減。 ・改良山成から窪地修正への工法変更による事業量、事業費の減 ・暗渠排水の増に伴う事業量、事業費の増 ・除磔の取り止めによる事業量、事業費の減						
1 地域										
事業種	区分 地目	現計画				変更計画				変更の有無
		田	畑	山林	計	田	畑	山林	計	
農業用排水			31.8						31.8	無
農業用道路			106.9						71.1	有
区画整理		2.2	482.3			2.2	480.9		483.1	有
計		2.2	576			2.2	558.0		560.2	
2 主要工事計画										
(1) 事業種	区分 項目 名称	現計画				変更計画				変更の有無
		排水量 (m3/s)	貯水量 (千m3)	取水量 (m3/s)	受益面積 (ha)	排水量 (m3/s)	貯水量 (千m3)	取水量 (m3/s)	受益面積 (ha)	

事業種	区分 項目 名称	現計画		変更計画		変更の有無
		延長(m)	受益面積 (ha)	延長(m)	受益面積 (ha)	
(2) 農業用排水路						
(3) 農業用排水路						
農業用排水路	第1号排水路	61	31.8	61	31.8	無
		61	31.8	61	31.8	
(4) 農業用道路						
農業用道路	1号農道	696	アスファルト	-	-	有
	2号農道	732	アスファルト	732	アスファルト	無
		1,428		732		
(5) 農地保全等施設						
事業種	区分 名称	現計画 受益面積(ha)		計画変更 受益面積(ha)		変更の有無
(6) その他改良保全						
事業種	工事種類	現計画 受益面積(ha)		計画変更 受益面積(ha)		変更の有無
区画整理		484.5		483.1		
	整地	45.7		38.8		有
	暗渠排水	361.4		363.4		有
	除磔	2.9		1.3		有

3 事業費						
事業種	区分	現計画 (千円)	変更計画 (千円)	増減 (千円)	増減の内訳 (千円)	変更の有無
農業用排水		19,662	19,662	-	自然増減 工法変更 事業量変更 その他	無
農業用道路		465,919	321,410	△ 144,509	自然増減 12,000 工法変更 △ 12,000 事業量変更 △ 144,000 その他 △ 509	有
区画整理		1,146,419	1,203,128	56,709	自然増減 22,000 工法変更 39,000 事業量変更 2,000 その他 △ 6,291	有
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
計		1,632,000	1,544,200	△ 87,800	自然増減 34,000 工法変更 27,000 事業量変更 △ 142,000 その他 △ 6,800	

II 変更後の概要										
1 目的										
<p>軍豊第2地区は、小麦、ばれいしょ、てんさい、豆類の畑作4品を主体作物にやまのいも、にんじん、レタスなどの野菜類を取り入れた土地利用型農業を展開している地域である。これまで本地域においては道営畑総事業等により排水路、農道、暗渠排水、除礫などが実施され農業経営の安定化が図られてきた。しかし、いまだ湿害や石礫などの影響を受け農業の効率化や生産コスト削減に支障を来している箇所が存在する。また地区内には未整備の道路があり農地への通作や円滑な輸送に支障を来している。本地区ではこれらの問題を解決するため、暗渠排水・窪地修正・除礫等の整備、また未整備の道路改修を実施することで地域農業の更なる合理化、安定化を図ることとしている。</p>										
地 域 の 所 在 及 び 現 況	2 (1) 地域の所在		北海道中川郡幕別町							
	(2) 地域の現況									
	ア 地形		標高20mから151mに位置し、台地性丘陵地と沖積地からなる。							
	イ 地質		火山灰性土							
	ウ 土壌		黒ボク土、泥炭土、多湿黒ボク土、褐色低地土、灰色低地土							
	エ 気象		内陸性気候							
	平均気温		6.7℃		かんがい期平均気温 16.0℃					
	平均降水量		871.7mm		積雪深 -cm 平均降水日数 93.7日					
	根雪期間		12月11日～3月20日		無霜期間 5月17日～10月9日					
	オ 水利状況									
カ 営農状況		畑作、酪農が主体である。畑作については、寒冷地作物を中心に作付されている。								
キ 地域環境の概況		本地区は、幕別町の中央部に位置し、地区内の西側を縦走る猿別川沿いに広がる平坦地と豊頃町境につながる東側の丘陵地からなる。								
(3) 地積及び戸数										
		地目				計		受益戸数		
戸数		田 (ha)	畑 (ha)	山林 (ha)			(ha)	(戸)		
全体	現況	2.2	558.0				560.2	39		
	計画	2.2	558.0				560.2	39		
基 本 計 画	3 (1) 事業計画内容 本地区は、土質が低地土、黒ボク土及び泥炭土であり下層の排水性が不良で湿害が発生しやすく、石礫の影響を受けている圃場もあることから作物の生育が阻害されている。また、畑地の褶曲や窪地は農作業上支障となり効率的な営農の妨げとなっている。このため、圃場の排水性改善、石礫除去、勾配修正等による農地条件の改善のため基盤整備を行う。あわせて、排水路並びに農道の整備を行い、低コストで高品質な農産物の生産を目指し、農業経営の近代化と安定化を図る。									
	(2) 環境との調和への配慮 幕別町は、環境創造区域にあっては、「貴重な動植物が生息する場合は、生態系を優先した工法、ルートの検討」、「都市と農村の交流ゾーンやゆとり・うるおいを目的とした農村公園の整備」等を行うこととしている。環境配慮区域では、「自然環境に与える影響に配慮し、環境に負荷の少ない事業を進める」、「水と緑のネットワーク形成を図る道路、河川、農業用排水の緑化を推進し、自然再生・配慮型事業を推進する」、「堆肥化施設により糞尿の適正処理を行い、水質保全等に努める」等となっており、本地区は、環境配慮区域に位置付けられている。 本地区事業内容の農業用排水路、農道用道路、区画整理は環境に大きな負荷をかけない事業内容となっており、工事の施工にあたっては近隣に河川があるため汚濁水が流出しないよう施工時期等に配慮する。									
工 事 又 は 管 理 要 領	主要 工 事 計 画		事業種		受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	事業量及び事業内容			
			農業用排水		6	31.8	農業用排水施設(排水) 1条 L=61m			
			農業用道路		4	71.1	農業用道路 1条 L=732m W=4.0(6.0)m AS舗装			
	区画整理		38	483.1	整地 A=38.8ha 暗渠排水 A=363.4ha 除礫 A=1.3ha					
造成又は改良される施設の管理方法等		施設名		管理団体名		管理方法				
		農業用排水施設(排水路)		幕別町		草刈り、土砂除去等				
		農業用道路		幕別町		草刈り等				

換地計画の要領	5	(1)換地計画樹立の必要性 該当なし								
	(2)換地計画樹立の基本方針									
	ア 従前の土地の地積の基準 該当なし									
	イ 農用地集団の方法									
	換地区		地帯別、グループ別団地の設定		個人別換地の方法					
					位置選択	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取り扱い			
	該当なし									
	ウ 非農用地の換地方針									
	換地区		種類	非農用地区域の位置の概略		面積	換地の手法	換地取得予定者	その他	
	該当なし					ha				
	エ 清算の方法									
	(3)土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積									
	換地区		機能交換に係る土地				一般公有地	合計		
			国有地	道有地	市町村有地	計				
該当なし		ha	ha	ha	ha	ha	ha			
(4)換地処分の特則に関する特則 該当なし										
費用の概算	6	事業種	事業費	負担区分				工期	関連事業費	備考
			千円 (負担割合)	国 千円 (52.0)	道 千円 (28.0)	地元 千円 (20.0)				
	農業用排水		19,662	10,225	5,505	3,932	H30~R7		-	
	農業用道路		321,410	167,133	89,995	64,282			-	
	区画整理		1,203,128	625,626	336,876	240,626			-	
	計		1,544,200	802,984	432,376	308,840				
効用	7	(1)事業効果								
	効果項目		食料の安定供給の確保に関する効果	事業の持続的発展に関する効果	農村の振興に関する効果	多面的機能の発揮に関する効果	その他	計 (千円)		
	年総効果(便益)額		178,077	-	674	-	24,881	203,632		
	現況年総農業所得額		-	-	-	-	-	105,616		
	年総増加農業所得額		158,434	-	-	-	-	158,434		
	(2)事業の効用									
	項目		地区全体	区画整理	農業用排水	農業用道路	備考			
	総便益額 ⑧		4,302,758	4,174,587	111,741	545,322				
	総費用 ③=①+②		2,391,176	1,775,651	79,766	535,759				
	総費用総便益比 ⑨=⑧÷③		1.79	2.35	1.40	1.02				
総所得償還率 ⑩=④÷⑥×100		15.5	8.7	-	-					
増加所得償還率		-	-	-	-					
他事業との関係	8	(1)農業部門内における他の事業との関係及び調整方法 該当なし						9 計画(変更)概要図 別図のとおり		
	(2)農業部門外の事業との関係及び調整方法 該当なし						10 その他 該当なし			